

今シーズン初確認！！ 北海道の死亡野鳥においてA型インフルエンザ簡易検査陽性

令和6年9月30日、北海道乙部町で回収されたハヤブサ(1羽)の死亡個体において、A型インフルエンザ簡易検査陽性反応が確認されました。

今後、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を国の機関で実施予定です。

⇒ 今シーズンも、早急な警戒が必須です！

<参考> 令和5年度

高病原性鳥インフルエンザウイルス確認1例目

○死亡野鳥 : 10月4日(北海道美唄市)

○家きん : 11月25日(佐賀県鹿島市)



※ なお、現時点では簡易検査で陽性確認の段階であり、高病原性又は低病原性インフルエンザかどうかは未確定です。

<特に以下の予防対策の点検・早急に再確認をお願いします>

- ・飼養家きんの毎日の健康観察
- ・異常家きん確認時の早期通報の徹底
- ・農場・家きん舎周囲への消石灰散布、農場出入時の人・モノ・車両消毒の徹底
- ・ねずみ・害虫の駆除及び家きん舎内への侵入防止対策のための防鳥ネット・壁・金網等の破損箇所の再確認と修繕

飼養衛生管理に関する
動画はこちらから



農場の近隣に池や沼等がある場合は、さらに注意してください！！

☆ 死亡の増加はなくとも、産卵率低下、食欲不振、元気消失等の普段とは異なる症状を認める場合は、家畜保健衛生所へご連絡ください。

県中央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826